組立・設置説明書

据置式段差解消機 エントランスリフト120

このたびは据置式段差解消機をお買い上げ頂きありがとうございます。
組立前にこの“組立・設置説明書”をよくお読みの上、正しく組み立てて下さい。
お読みになったあとは大切に保管しておいて下さい。
万一紛失の場合はご請求下さい。

目　次

1112
Ver.05

設置前にこの組立・設置説明書を必ずお読みの上、設置して下さい。

■ 本体に同梱されている取扱説明書は、製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚したりしないよう大切に保管し、組立完了後使用する方にお渡し下さい。

■ 電気配線工事は、電気工事士の資格が必要です。

《分解》

■ 組立の逆手順にて行って下さい。(カイモノは必ず最初に入れて下さい。)細かい部品(ビス、ピン、ネジ類)を紛失しないようご注意して下さい。

■ 組立同様、ケガに注意して作業を行って下さい。

《消毒・保管》

■ コラム以外はスチーム洗浄や酸性水洗浄など水洗可能です。コラムは電装関係がありますので布などで拭き取って清掃、消毒して下さい。

■ 保管する際は各部品を十分乾燥させてから梱包して下さい。

■ 保管の前にグリスアップなどの整備を行って下さい。また、全ての部品が揃っているか確認して下さい。

■ 保管は湿気の少ない場所にて保管して下さい。

■ 再組立の際は事前に全ての部品が揃っているか確認して下さい。

1.安全上に関するご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守り下さい。

⚠警　告

1. 安全に関するご注意

けがや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠危険	人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

■お守りいただく事項の種類を次の絵表示で、区分し、説明しています。

⚠危険	注意事項を表す絵表示です。
⃠警告	してはいけない禁止事項を表す絵表示です。

⚠ 危険	
必ず守る	■定格 10Ａ以上のコンセントに接続。 火災、動作不良の原因になります。
	■漏電ブレーカーの確認。 感電、発火の恐れがあります。
	■ネジやピンの取り付や締め忘れにご注意。 昇降時に故障、事故の恐れがあります。組立終了後再度、確認をしてください。
	■清掃点検時は、電源プラグを抜く。 火災・感電の原因になります。
	■必ず、施工説明書に基づき施工を行い、電源（AC100V）を切った状態で施工。 感電や故障の原因になります
禁止	■濡れた手で電源コードを触らない。 火災・感電の原因になります。
	■傷んだ電源プラグ、コンセントは、使用しない。 火災・感電の原因になります。
分解禁止	■分解・改造を行わない。 故障・事故・火災等の原因になります。

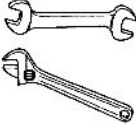
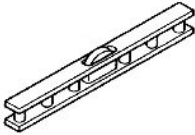
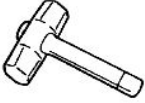
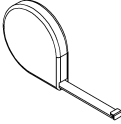
⚠ 警告	
 必ず守る	■お客様が夜間も使用される場合は照明器具等十分な明るさを確保。 落下事故のおそれがあります。
	■車椅子以外のご使用は、しないでください。 車椅子専用リフトです。荷物の搬送など車椅子以外の昇降は、使用しない。
	■異音等機器の異状。 使用を中止し、メーカー、販売店にご連絡ください。落下・故障の原因になります。
	■搭乗荷重、定員（1 名）。 故障・落下事故の原因になります。
	■車椅子以外のご使用は、しない。 車椅子専用リフトです。荷物の搬送など車椅子以外の昇降は、使用しないでください。
	■屋内専用リフトです。屋外に設置しない。 故障の原因になります。
	■ケーブルの断線のおそれがある場合は、プロテクタのご使用ください。 断線により、火災の原因になります。

⚠警告

 必ず守る	■点検・清掃時下部フレーム・シザーに「カイモノ」を確実に入れる。 守らないとけがの原因になります。
	■運搬や施工中には必ず手袋をはめて作業。 革手袋をはめないとけがの原因となります。 電動ドリル使用時は、革手袋をご使用ください
	■スロープを使用する場合は、転倒する恐れがあります。 ご使用の車椅子の転倒角度にご注意ください。
	■重量物 55kg 以上（成人男性）は一人で運ばない。 ケガ・腰痛原因となります。
	■水を直接かけない。 火災・感電・故障の原因になります
	■浴室内など湿気の多い場所に設置しない。 感電や火災の原因になります。

⚠ 注意

 必ず守る	■リフトご使用後はかならずリフトを下げて置く。 リフトが破損するおそれがあります。
	■リフトをアンカー固定しない場合昇降前に、リフトの位置を確認。 リフトの位置がずれている場合があります。
	■オプション取り付寸法に注意。 オプションの種類によって、必要取り付寸法が変わってきます。ご注意ください
 禁止	■テーブルの下に手や足を入れない。 下降時に、テーブル下に手や足を挟む原因になります。
	■壁面とリフトの隙間に注意。 指や足を挟む原因になります。
	■非常降下は、非常時のみ使用する。 電池が切れて使用できなくなります。

2.設置上のご注意

■搬入・設置について

- 本体及び各オプション装着時の指示を守り、設置して下さい。
- 水はけのよい、コンクリート打ちをした水平な場所に設置して下さい。
- コンクリートの傾斜は水勾配(約 1 度の傾斜)を超えないようにして下さい。
- ブリッジは段差床上面に 30 ㎜以上の架かるように段差解消機の位置決めをして下さい。
- 高さ設定は 343 ㎜以下にてご使用下さい。343 ㎜を超える高さにて設定しないで下さい。
- リミットドグ・シザー等、固定ネジの締付けは完全に行って下さい。

■その他

- ワイヤレス電波などのノイズを受けると誤動作や不動作の原因となります。

3.必要工具

スパナまたはモンキー
10、14、17㎜
アンカーボルト固定用

電動ハンマードリル
アンカーボルト打設用

ハンマー
アンカーボルト打込み用

プラスドライバー(大)
プラスドライバー(小)

水平器

軍手、皮手袋

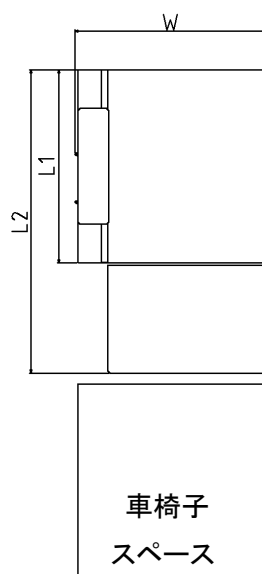
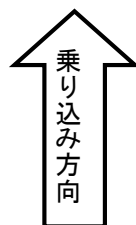
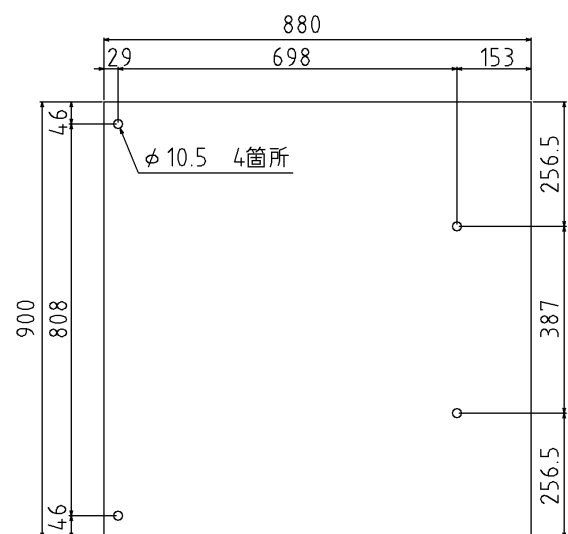
コンクリート穴開け用
ドリル(刃)
φ10.5㎜

スケール

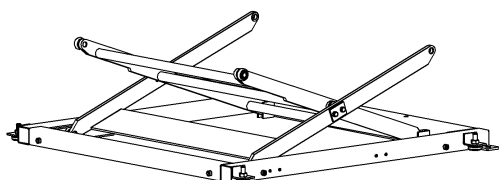
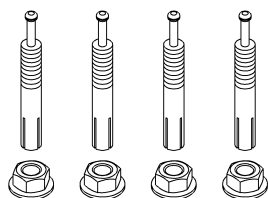
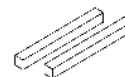
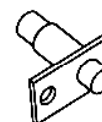
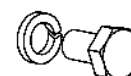
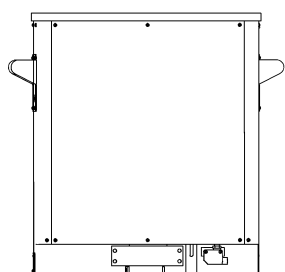
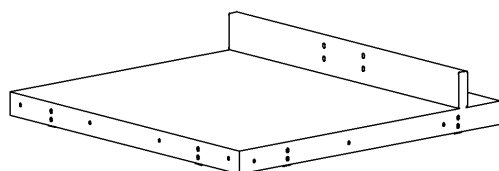
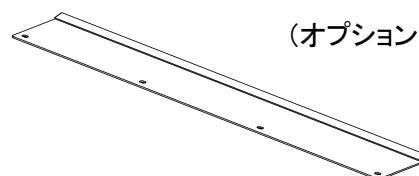
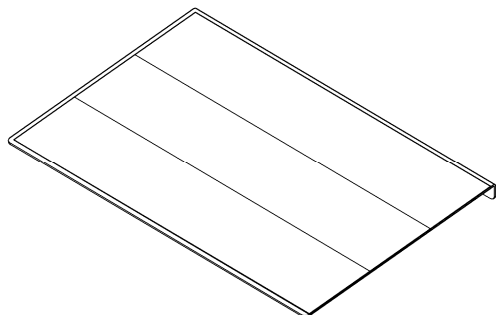
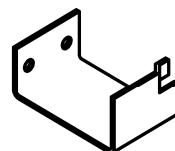
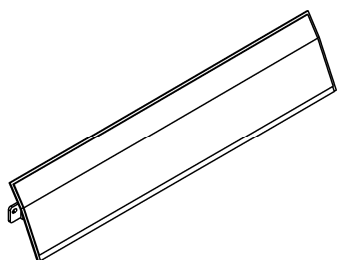
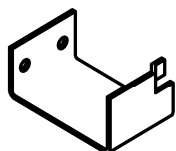
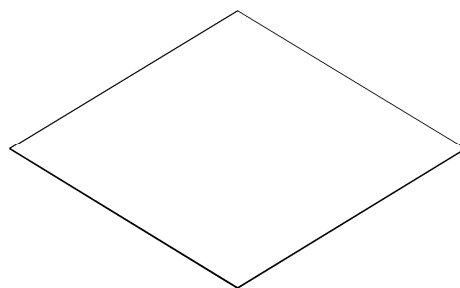
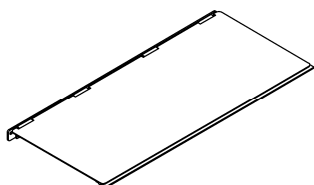
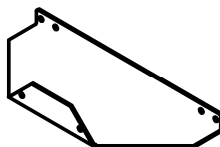
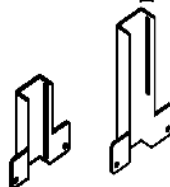
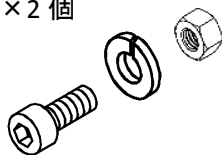
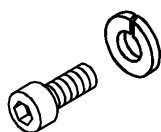
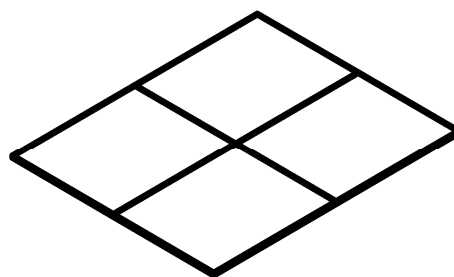
アレンキー
5mm　3mm

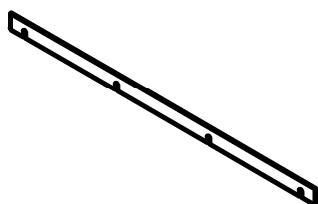
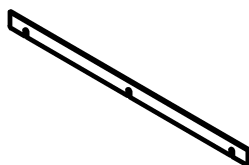
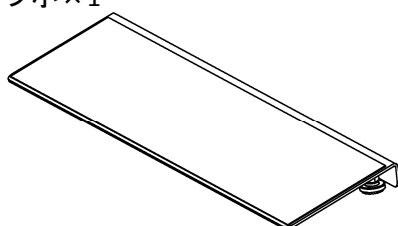
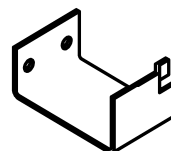
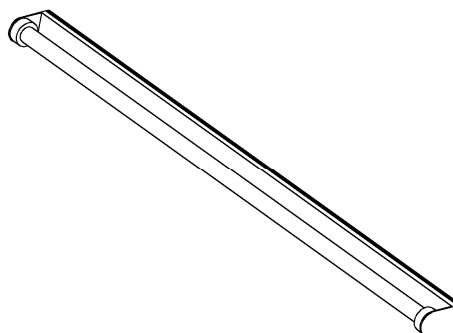
4.左官工事について

- 設置面は、コンクリート打ちをして下さい。
- ピット工事の場合は、必ず排水孔を設けて下さい。
- 水はけのよい、水平な場所へ設置して下さい。

左官工事については下記の寸法を守って下さい。(OP 取付時は、寸法が異なります。)

リフト取付寸法

設置推奨寸法
L1＝930
L2＝1415
W＝920

アンカー取付穴寸法

5.梱包形態(各部名称)

開梱後は製品のご確認をお願い致します。

オプション

D.スロープ大×1 個
・十字穴トラスビス
〔M6×8〕×4 個
スロープ固定
金具小×2 個
E.車輪止め×1 個
スロープ大専用
十字穴トラスビス
(M6×8)×３ 個
スロープ固定
金具大×2 個
F.ゴムシート×1 枚
G.自動ブリッジ×1 個
・ガイドステー
×1 個
・ブリッジガイド小、大
各 1 個
・高さ調整板×1 個
・十字穴トラスビス
(M6×8)×7 個
・六角穴付ボルト(M6×16)×２ 個
・スプリングワッシャ〔呼び 6〕×2 個
・六角ナット〔M6〕×２ 個
・六角穴付きボルト(M6×12)×２ 個
・スプリングワッシャ〔呼び 6〕×2 個
・平座金〔呼び 6〕
H.カーペット×4 枚

オプション

I脱輪防止ガイド
・脱輪防止ガイド横×1 個
・脱輪防止ガイド前×2 個
・十字穴トラスビス
(M6×8)×10 個
J.スロープ小
スロープ小×1
十字穴トラスビス
(M6×8)×4 個
スロープ固定
金具小×2 個
K.ロールカーテン
650mm ×1
上部テーブルに取付出荷

6.設置前チェック

チェック項目	チェック欄	備考
水はけの良い、コンクリート打ちにした水平な場所であること。		
昇降場所の確保。車いすで十分乗降が出来る広さがあること。		
製品部品に欠品及び不具合の部品がないこと。		
左官工事寸法が守られていること。(4頁参照)		
傾斜(水勾配)が1度以内あること。		

(注)アンカーボルトを打つ必要がある場合はコンクリートの厚みを確認して下さい。(下孔深さ 45 ㎜)

7.組　立(本体)

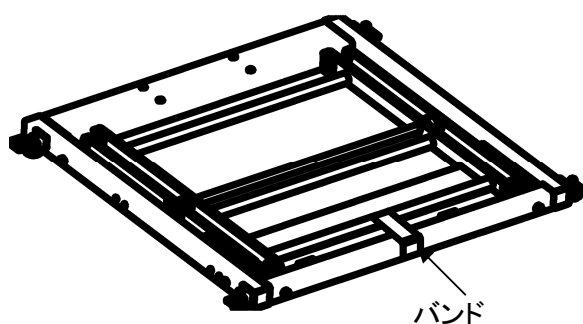



図 1

(1) コラムの設置方向を決め、シザーベースを設置場所に置きます。開き防止の為、シザーベースを固定しているバンドを解きます。

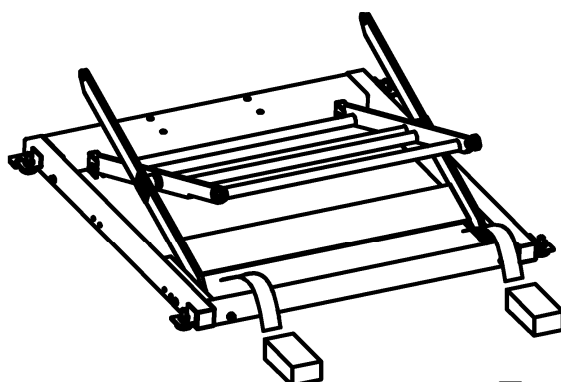
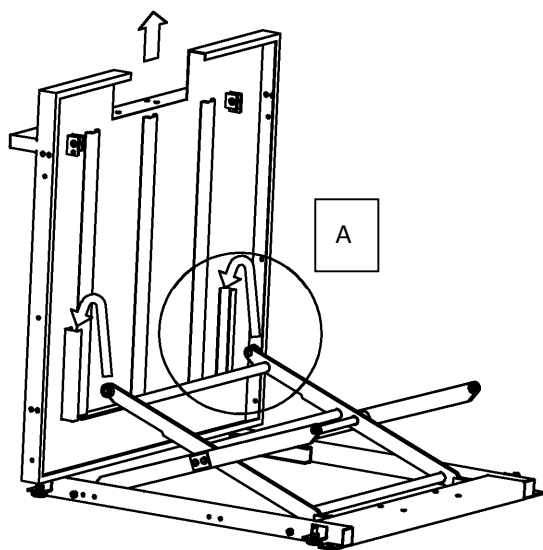



図 2

(2) シザーを持ち上げて開き、カイモノを入れ固定します。

（3）

-1 テーブルを下部フレームシザー上に置きます。

-2 シザーを持ち上げテーブルのレールに落とし込みます。

-3 テーブルを引っ張り上げテーブルを倒します。（図 4 参照）

図 3

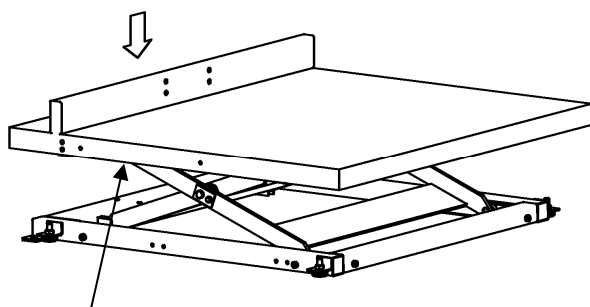
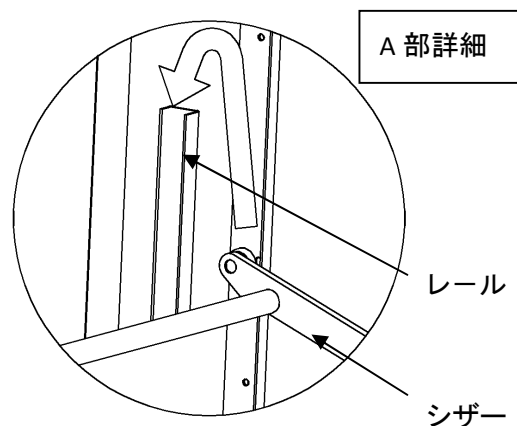
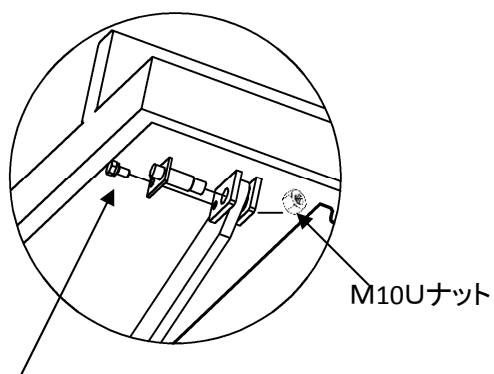



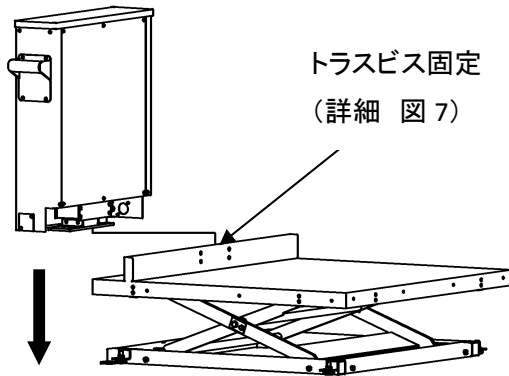
図 4

-4 シザー固定軸をシザーと上部テーブルにボルトと SW で 2 箇所固定する。（図 5 参照）
シザー固定軸Uナットを 2 箇所固定する。
〈M6*8 六角ボルト M スプリングワッシャ
スパナ 10mm 使用
M10Uナット スパナ 17mm使用〉

図 5

図 6

(4)-1

テーブルの上にコラムを載せる。

（図 6 参照）

-2

テーブルとコラムをトラスビスで 4 箇所仮止めする。

〈トラスビス M8*40 プラスドライバー大使用〉

（図 7 参照）

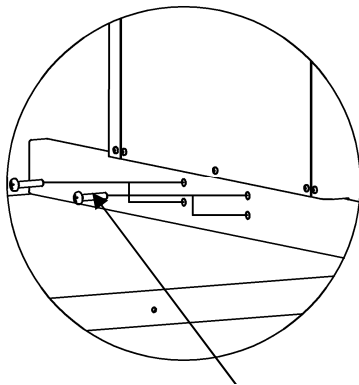



図 7

-3 電源を入れて上昇ボタンを押してコラムを伸ばす。

下部フレームまでコラムを伸ばしてください。

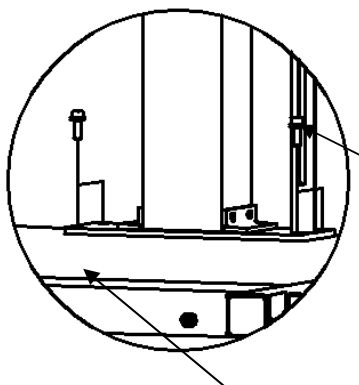



図 8

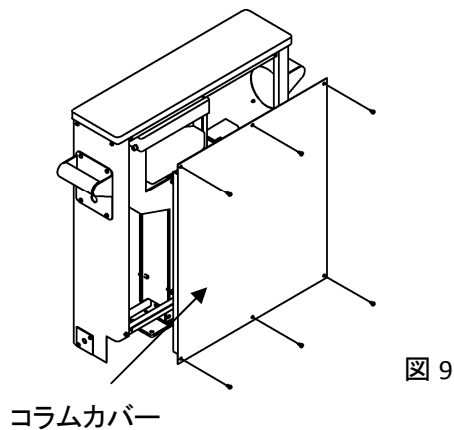
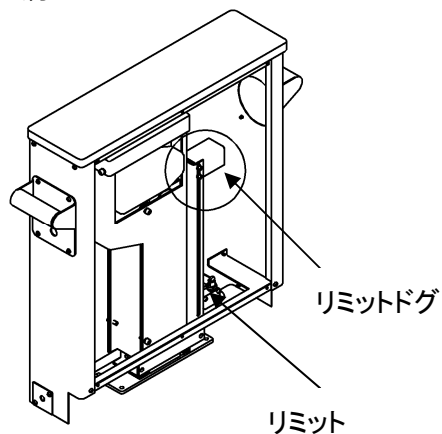
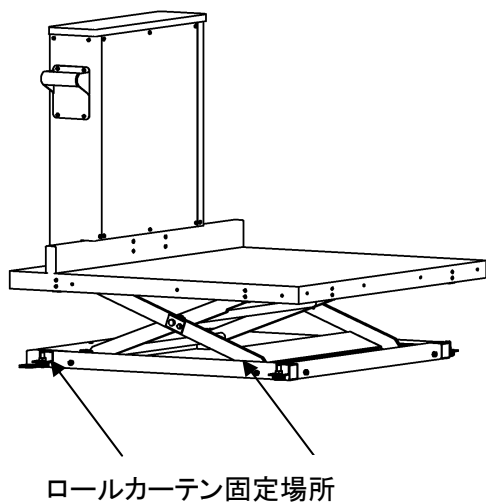
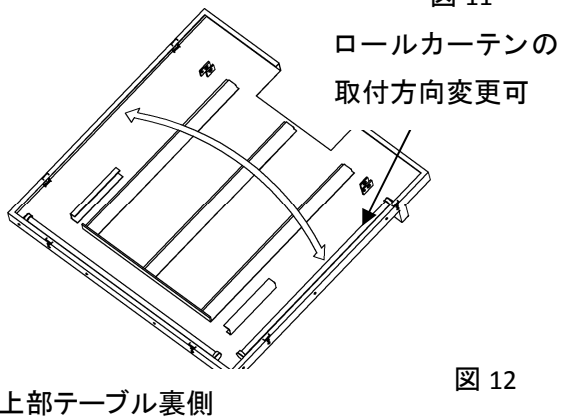
-4 下部フレームとコラムを六角穴付きボルト、SW で 4 箇所仮止めする。

〈六角穴付きボルト M6*20 SW アレンキー5mm 使用〉

（図 8 参照）

-5 トラスビスと六角穴付きボルトを本締めします。

※カイモノを取り外してください。

⚠ **注意** **取り外さずに下降させるとリフトが破損する恐れがあります。**

（5）

-1 上限高さの設定を行います。

停止位置までリフトを昇降させます。

コラムカバーを止めているビス 6 箇所をプラスドライバー（小）で取り外します。

（図 9 参照）

図 9

-2 リミットドグを固定している六角穴付きボルトを緩めてリミットドグがリミット接触部に当たり、「カッチ」と音がするまで下げてからボルトを固定してください。

〈M4＊12　アレンキー使用〉

操作スイッチの取付方向及び電源コードの取付方向を変える場合は、P13（6）、（7）を参照してください。

コラムカバーを取付ます。

図 10

-3 テーブル上側に付いているロールカーテンを伸ばして下部フレームに固定する。

ロールカーテンは、は乗り口側にセットして下さい。

1 面のみ取付箇所の変更が可能です。

ロールカーテン取付金具　2　箇所を押しながら引っ張ると取りはずせます。

（図 12、13 参照）

図 11

図 12

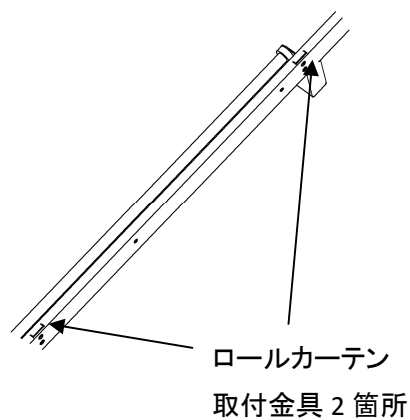
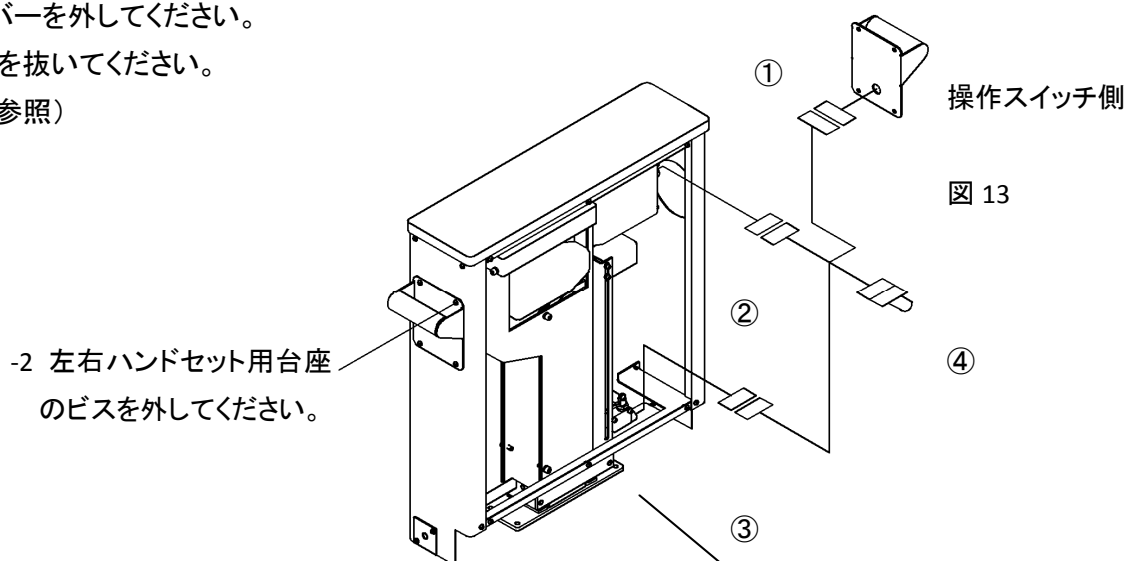



図 13

（6）操作スイッチ取付方向の変更

使用工具　プラスドライバー小

-1 コラムカバーを外してください。
コンセントを抜いてください。
（P13（9）参照）

図 13

-2 左右ハンドセット用台座のビスを外してください。

-3 コネクターを①、②、③の 3 箇所外してください。
※特記
キースイッチ付きの場合は④も外してください。
キースイッチ付きの場合は、④にキースイッチが付きます。
図 14 のように配線を整えてください。
ケーブルバンド等で配線をまとめると綺麗に配線できます。

-4 左右のハンドセット用台座を入れ替えてコネクターと取り外したビスを取付てください。

図 14

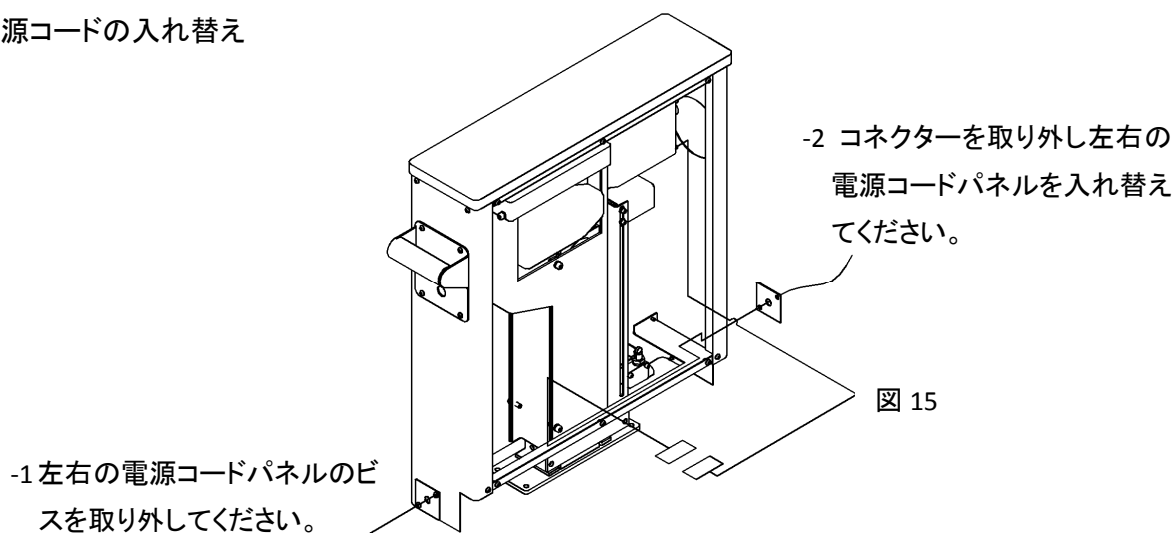
（7）電源コードの入れ替え

-2 コネクターを取り外し左右の電源コードパネルを入れ替えてください。

図 15

-1 左右の電源コードパネルのビスを取り外してください。

-3 電源コードパネルとコラムカバーのビスを締めてください。

（7） オプション取付

使用工具	プラスドライバー小

-1 自動ブリッジ
M6*8 トラスビス 3 箇所取付

-2 サイドガイド
M6*8 トラスビス 4 箇所取付

-4 車輪止め
M6*8 トラスビス 3 箇所取付
（スロープ大専用 OP）

-3 自動ブリッジガイド
M6*8 トラスビス 4 箇所

-5 スロープ固定金具 大＆小
M6*8 トラスビス 4 箇所取付
※注記
車輪止め取付時のみスロープ固定金具大を使用

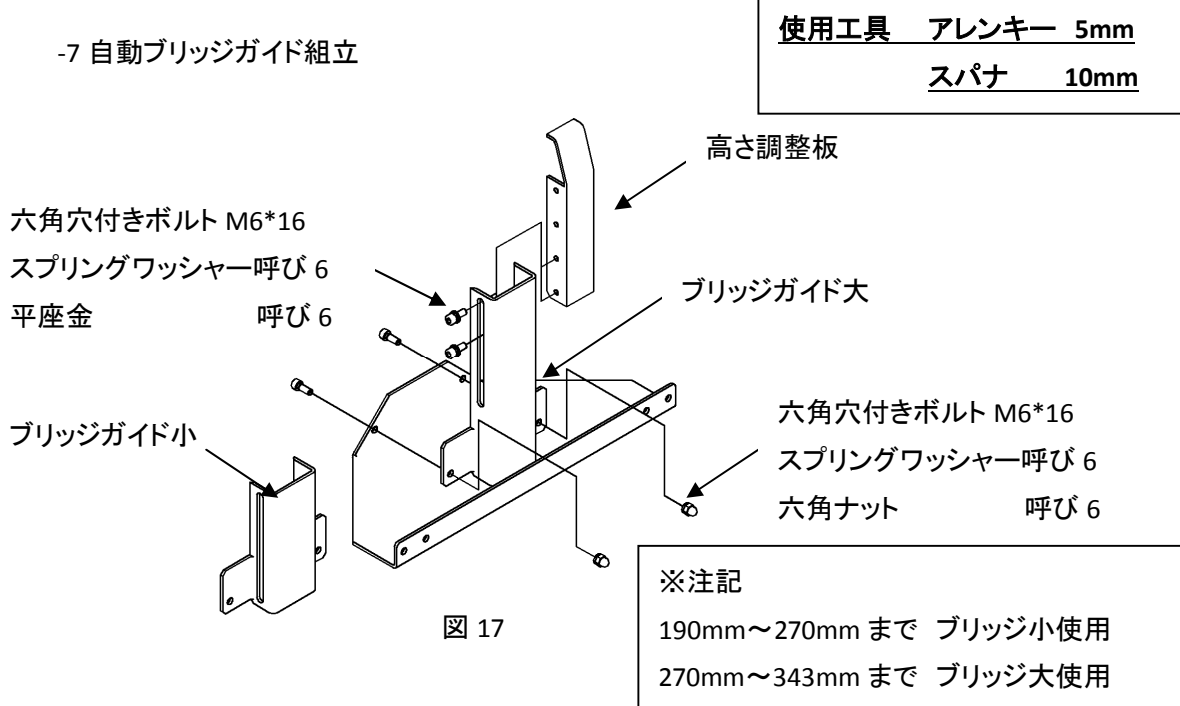
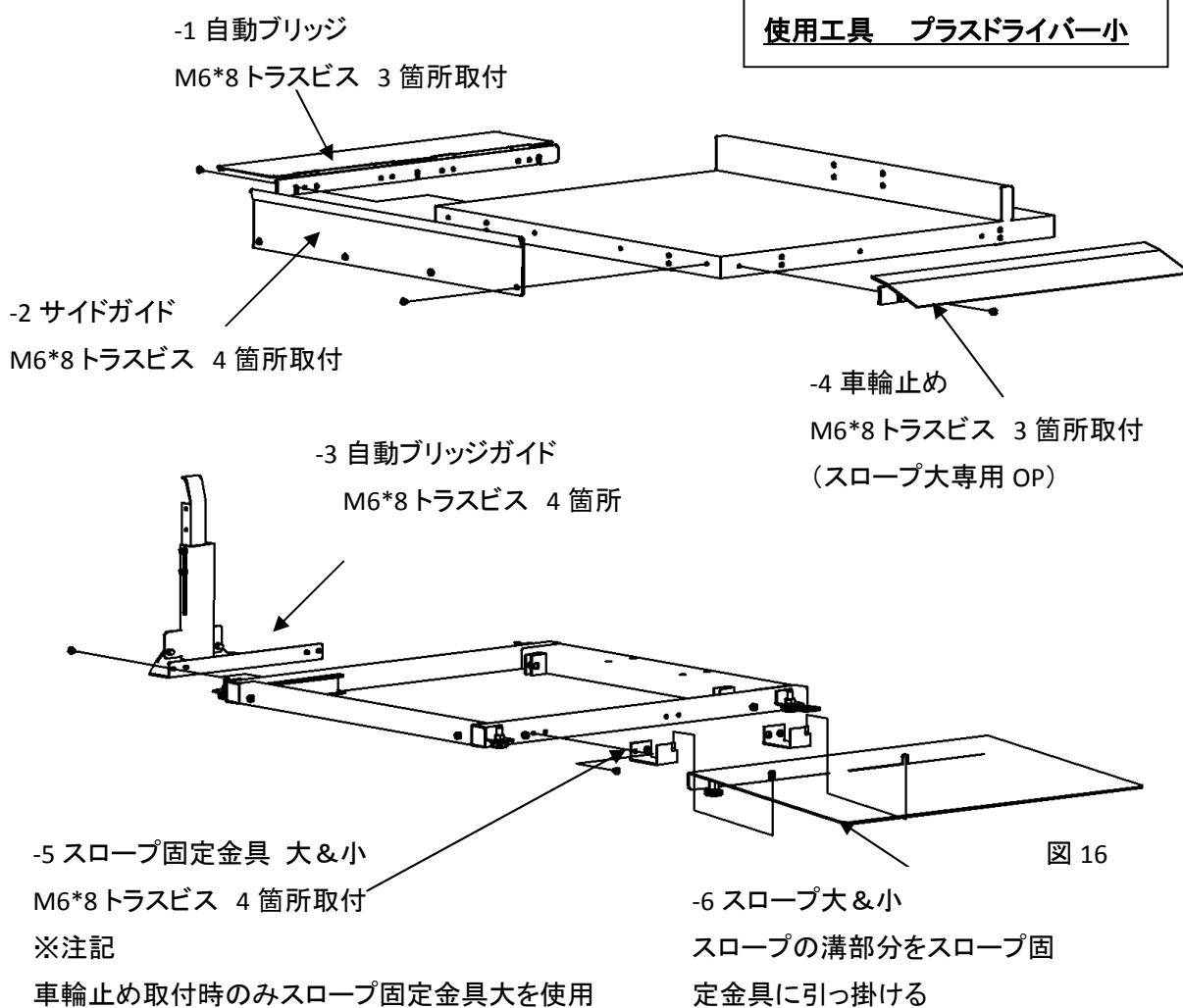
図 16

-6 スロープ大＆小
スロープの溝部分をスロープ固定金具に引っ掛ける

-7 自動ブリッジガイド組立

使用工具	アレンキー 5mm
	スパナ 10mm

図 17

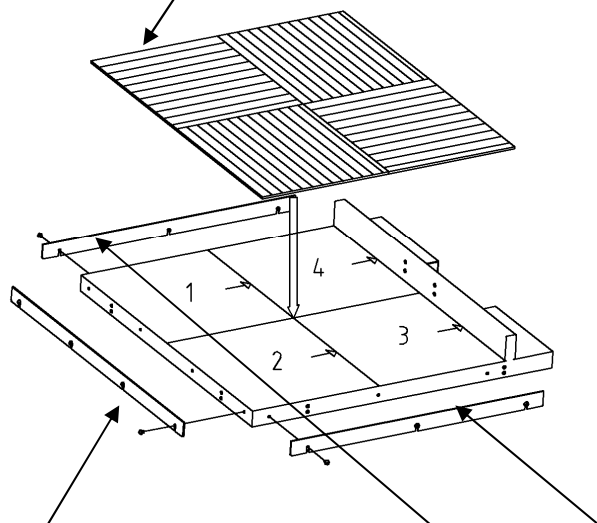
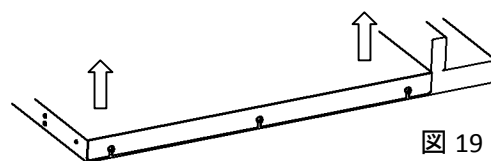
※注記
190mm～270mm まで ブリッジ小使用
270mm～343mm まで ブリッジ大使用

（8）カーペット＆脱輪防止ガイド

使用工具　プラスドライバー小

カーペット

カーペットは、番号と矢印の向きを確認して配置してください。

図 18

図 19

-3 脱輪防止ガイドの高さ調整

ビスを緩めると脱輪防止ガイドの高さを変更できます。

任意の高さでご使用ください。

（9）ゴムシート

ゴムシートを敷いてから組立を開始してください。

玄関がタイル等で割れやすい、リフトが滑りやすい場合には、ご使用ください。

リフト設置前にゴムシートを敷いてください。

※注記

アンカーと一緒にご使用できません。

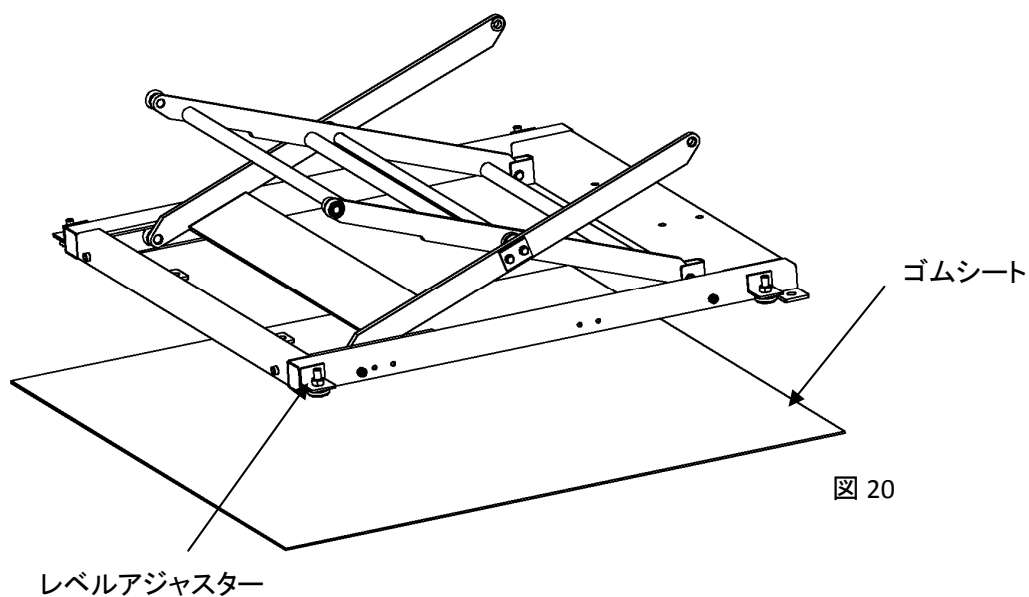



図 20

（10）水平調整

使用工具　スパナ 17mm

組立が終了後リフトの水平を水平器で計ります。

水平が出ていない場合は、レベルアジャスターの長さを変えて調整してください。

スパナーでボルトを緩めてレベルアジャスターの調整をしてください。

調整後はかならずボルトをスパナで締めてください。

（図 20 参照）

8. 分 解

組立と逆の手順で行なって下さい。

⚠注意

次回組立の為、下記点にご注意下さい。

(1) ビス、平座金などの細かい部品を紛失しないように注意して下さい。

(2) カイモノを入れ、シザーを固定する際は、アクチュエターの破損にご注意して下さい。

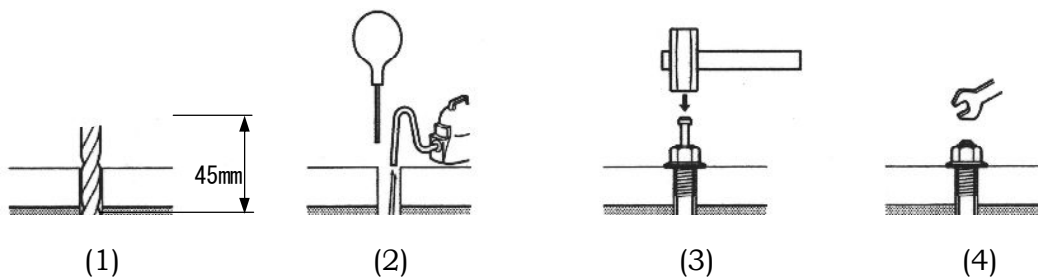
9. アンカーボルト設置方法

(1) 同梱のアンカーボルトで固定する為に、アンカーボルト打設用電動ハンマードリルを用いコンクリート穴開け用ドリルφ10.5 で深さ 45 ㎜の下穴を開けます。

(2) 穴内の切紛を除去します。

(3) 同梱のアンカーボルトを挿入し、ハンマーでピンを打ち込みます。

(4) スパナ類を用いてシザーベースを締め付けて設置完了です。（締め付けトルク 13〜15N・m）

(1)　(2)　(3)　(4)

10.設置完了後のチェックリスト

項目	チェック項目	チェック欄	備考
段差解消機	アンカーを打つ場合は最低2本を打ち、少なくとも1本はシザー固定軸側に打つこと。		
設置後状態確認	水平が出ていること。		
	本リフトと段差、建物側に上昇、下降時当たりがないこと。		
	リフト本体にガタツキのないこと。		
動作確認	下限位置でアクチュエター停止すること。		
	上限設定位置(段差上面)でリフトが停止すること。		
	リフト上昇中、異常音、異常振動のないこと。		
	下限位置まで下降すること。		
	コラムがしっかり固定出来ていること。		
	リフト下降時、カーテンが巻き戻されていること。		
	上限停止位置で(段差上面)で自動ブリッジを倒した時(開)段差床上面にブリッジが30㎜以上架かっていること。		
	上限停止位置で自動ブリッジがスムーズに動くこと。		
	据置スロープがガタツキなく設置されていること。		
	電源を切って非常用降下ボタンの操作でテーブルが下降すること。		